



# つくば市議会だより

# SUKUBA-28

議会をもっと知りたくなる情報紙

6月定例会 No.177  
 令和5年(2023年)8月1日発行  
 発行：つくば市議会  
 編集：広報広聴委員会

一般質問	P 2～6
委員会審査	P 7
議案等審議・第2回臨時会	P 8
議決結果・賛否	P 9
特集	P 10

## 議会改革進めています!



- **通年議会** を令和6年4月から導入
- 委員会の録画映像配信を開始（令和5年度予定）
- 本会議の一般質問、会派代表質問でのオンライン実施が可能に
- 正副議長選挙時に所信表明会を実施へ

※6月定例会から議場内のアクリル板が撤去されました。

### 通年議会 ってなに??

解説動画はこちら ▶▶▶



## つくば市議会チャンネル

### YouTubeで動画を配信しています



▶つくば市議会チャンネル

チャンネル登録お願いします

### 第2回臨時会ハイライト

議案審議 議案など3件を審議

### 6月定例会ハイライト

一般質問 19名の議員が白熱の議論を展開  
 議案審議 議案25件、請願2件  
 意見書案1件を審議

### 9月定例会開催予定

9月 5日(火)	開会
12日(火)	一般質問
13日(水)	一般質問
14日(木)	一般質問・総括質疑
19日(火)	予算決算委員会(総務文教・福祉保健)・総務文教委員会・福祉保健委員会
20日(水)	予算決算委員会(市民経済・都市建設)・市民経済委員会・都市建設委員会
21日(木)	予算決算委員会(総務文教・福祉保健)・総務文教委員会・福祉保健委員会
22日(金)	予算決算委員会(市民経済・都市建設)・市民経済委員会・都市建設委員会
10月3日(火)	予算決算委員会
6日(金)	討論・採決・閉会

建設中の(仮称)みどりの南小・中学校



つくば市議会だよりが  
スマートフォンで読めます





木村 修寿 議員

自民党政清クラブ



### コミュニティセンター施設などについて

**質問** みどりの駅周辺のみどりの地区においては、定住人口が増加している状況である。地域の人が集う場所、または、社会教育(生涯学習)を行う施設が必要だと思う。市としてはどのように考えているか、伺いたい。

**答弁** みどりの地区のコミュニティセンター施設などについては、整備の必要性を認識しており、令和6年度に供用開始する「(仮称)みどりの学校プール」内に、市民が利用可能な会議室、

コミュニティスペースを整備する。社会教育の場については、令和6年度開校の(仮称)みどりの南小学校の家庭科室、音楽室などの特別教室などを、広く市民の生涯学習に寄与できるように検討しており、研究学園小学校と同様、学校休業日に当たる土曜日、日曜日などの開放を想定している。

**質問** 地域交流センターの新設を考える必要があるのではないか。

**答弁** TX沿線開発地域では、人口増加が著しく、コミュニティ施設を始めとした公共施設の整備が必要であると認識しており、新しく整備する公共施設には、市民が利用できる会議室などを併設している。今後も施設の在り方について検討を進めていく。

**要望** みどりの地区やTX沿線地区などには、公益施設用地が確保されているかと思うが、検討願いたい。

このほか、公園整備事業(萱丸地区3号近隣公園、萱丸源流の森および上河原崎・中西地区の市民緑地)、(仮称)桜学校給食センターについて質問した。



小久保 貴史 議員

つくば自民党



### 農地取得要件の下限撤廃と今後

**質問** 農地法改正による農地取得の要件の一つであった下限面積(5千平方メートル)撤廃後の3条申請件数の状況について伺う。

**答弁** 「他者の農地等の権利を取得しようとする申請者は、当該申請農地等も含めて50アール以上の農地等の営農面積が必要」とする下限面積要件が撤廃された。この従前の下限面積未滿で申請があった件数としては、令和5年度5月末日までに12件あった。

の今後の考え方について伺う。

**答弁** 改正の趣旨である「農業者の減少が加速する中で意欲ある新規参入者を取り込む。」ことの重要性を十分に認識する一方で、資産保有や投機目的で農地などの権利取得がなされることを防止するために適切な判断が必要と考えている。この判断を行うため、当該取得が営農目的である旨を記載する新様式の「営農計画書」を作成し、新規就農者や初めて市内農地などを取得する方に、令和5年6月

**質問** 下限面積撤廃による市

1日から提出してもらうこととした。今後は、下限面積撤廃に伴い生じる案件の調査・研究を進めるとともに、県内他自治体と連携し、実例に則した運用マニュアルなどを国に作成してもらえよう要望していく。



このほか、歴史的緑空間用地の今後と維持管理、土地改良法による賦課金の納付者基準について質問した。



川久保 皆実 議員

つくばチャレンジチャレンジ



### 認可保育施設の利用者負担額の見直しを!

**質問** 認可保育施設の0〜2歳児クラスの保育料に関して、つくば市の利用者負担額の上限額が、隣接自治体よりも月額9千〜3万9千円高額となっている点について、その理由および課題意識の有無を伺う。

**答弁** 認可保育施設の利用者負担額については、平成25年度に見直しを行い、階層区分を8階層から13階層へと改定したが、上限額である7万8千円については改定無しとした。その理由は、世帯の可処分所得額に

対する保育料の割合に重点を置いて検討した結果、上限額である7万8千円の階層における負担割合は、他の階層と比較して低かったことによるものである。そのため、負担割合の高かった中間層における保育料引き下げが主な改定となった。近隣自治体と比べ、利用者負担額の上位2階層については、負担額が急激に増加する現状は認識しており、階層の細分化を含めて今後調査・研究していく。

**質問** いつまでどのような

**調査・研究を行う予定か?**  
**答弁** 認可保育施設の利用者負担額の見直しについては、他自治体の状況や保育経費に占める保育料の割合、各階層における人数分布などの調査研究を行い、今年度中に改定の必要性を判断する。改定が必要と判断した場合、新たな階層や利用者負担額の実施案を作成し、関係部署との調整などを実施した上で、令和7年4月から改定したいと考えている。

このほか、市営公園における遊具や砂場の設置、女性の意見や視点を市政に反映させるための取り組みについて質問した。



浜中 勝美 議員

公明党つくば



### 農業支援対策について

**質問** 令和4年、農業経営基盤強化促進法などが改正、令和5年4月1日から施行され、「人・農地プラン」のグレードアップとされている地域計画について、今後2年間で計画を策定する上で、地域の話し合いのスケジュールはどうなるか。

**答弁** 地域計画は令和6年度末までに策定予定である。市が地域の話し合いの場の運営や全体の進行管理などを行い、農業委員会は農地の出し手・受け手の意向を把握して、10年後目指すべき農地利用の姿である目標地図の素案を作成し、計画を策定する。どのような工程で数多くの農業者や地域関係者の話し合いの場を設定できるかが重要であり、地域農業の将来を一人一人が考え、意見し、農業者が守り続けた農地を、地域一体で次世代に引き継ぐ実効性のある地域計画を策定する。

**質問** 国の食料安保政策や県の農業ビジョン、市の令和7年度からの農業基本計画などを含め、市内の農業をどう考えてい

るのか、市長の見解を伺う。  
**答弁** 作った良いものの売り先が重要なので、市では学校給食への積極的取り入れを考え、関係団体との意見交換などを行っている。経営規模拡大に前向きな農業者が農地集約をしやすくし、新規就農者支援なども行うなど、トータルでの考えが重要なので、第3次農業基本計画では、現状と課題を策定懇話会委員の提言を基に話し合い、市の農業を持続可能にする方法を先進事例から学び、取り組みたい。

このほか、障がい者スポーツと共生社会の推進、新型コロナウイルス感染症の後遺症対策について質問した。



かみや 神谷 大蔵 議員

つくば自民党



### 移動投票所について

**質問** 高齢者や障害者などの移動が困難な方への、インターネット投票など、先端技術を活用した投票しやすい環境整備の取り組みについて伺う。

**答弁** 環境整備の取り組みについては、インターネット投票の実現を目指し、令和4年11月に模擬住民投票を実施した。インターネット投票に関する市の提案は、国家戦略特区ワーキンググループで検討され、令和4年12月の国家戦略特区諮問会議で、全国制度も含めてその実

現に向け、責任を持って速やかに検討すべきとの見解が示されることにも、MaaSなどの移動支援やデジタル活用も含む取り組みを検討し、令和5年度早期に結論を得ることとされている。市では、令和5年4月の国家戦略特区ワーキンググループで、移動などが困難な有権者が移動期日前投票所をオンデマンドで予約し、タブレットで投票できる仕組みを提案している。現在の運用は、投票所の場所の広域での告示、移動期日前投票

限定のタブレットでの投票は、認められていないため、地域の実情に沿った運用ができるよう政府に検討を求めつつ、実証実験や関係機関との協議を進める。  
**要望** 投票所に出向くことが困難な方に対し、投票率の向上、投票の機会の確保、一人でも多くの方が自分の意思を政治に反映できる取り組みを進めると同時に、地域のニーズや実態を踏まえ、庁内各部署と連携し、投票の機会を確保する取り組みを積極的に推進するよう要望する。

このほか、筑波山渋滞対策、旧筑波東中学校跡地BMXコースの運営、筑波地区支線型バスの現状について質問した。



はしもと 橋本 佳子 議員

日本共産党 つくば市議団



### 高齢者の補聴器購入補助の早期実現を！

**質問** 「加齢性難聴者の補聴器購入費補助を求める」請願が令和3年9月議会で趣旨採択された。全国で補助制度が広がっている。当初市長は必要性を認めながら、国が進めることであり、その動向をみたいと答弁していた。それでは対応が遅れてしまう。加齢により聞こえにくくなった高齢者にとって、日常生活に必要な補聴器であり、認知症を誘発すると専門家も警鐘を鳴らしている。市の見解を伺う。

**答弁** 加齢性難聴者への補聴器購入費の助成制度を創設することについては、全国市長会から国に対して、制度創設を求める提言を行っていることから、本来、国で対応すべきものと考えている。この制度を早期に創設し取り組むことは、高齢者の社会参加の促進、介護予防などのために必要なことであると認識しているため、実施に向けて検討していく。

**要望** 実施に向けて、補正予算か令和6年度予算計上を要望する。



このほか、生涯学習の場を保障する地域交流センターに新たに加わった相談業務と多世代利用フリースペースの現状と課題、部活動の地域移行、自衛官募集事務の名簿提供について質問した。



やまなか 山中 真弓 議員

日本共産党 つくば市議団



### 民間フリースクールと利用者への補助支援

**質問** 令和5年度主要施策で「民間フリースクールなどへの事業経費補助や利用者への支援を開始するなど、学校の教室外や学校外の児童生徒の居場所や学びの場を増やす」とあるが、未だ基準が示されていない。現段階の支援基準、支援額はどのくらいか。また、教室外や学校外の児童生徒の居場所や学びの場を増やす具体的対策として、児童館や児童クラブを活用することについて、市の見解は。

**答弁** 民間の不登校児童生徒支援施設に対する補助事業は、現在、補助要綱を作成している。補助要件は、不登校児童生徒に対する相談・指導などを活動の主たる目的としていること、月曜日から金曜日までのうち3日以上、かつ学校の時間に相当する時間に1日4時間以上を開設していること、不登校児童生徒支援のために、学校や家庭との間に十分な連携協力体制が構築されていることなどを予定し、補助金額は、スタッフの人員費などの最大2分の1の額を予定

支援施設に対する補助事業は、現在、補助要綱を作成している。補助要件は、不登校児童生徒に対する相談・指導などを活動の主たる目的としていること、月曜日から金曜日までのうち3日以上、かつ学校の時間に相当する時間に1日4時間以上を開設していること、不登校児童生徒支援のために、学校や家庭との間に十分な連携協力体制が構築されていることなどを予定し、補助金額は、スタッフの人員費などの最大2分の1の額を予定

このほか、在宅高齢者布団丸洗い乾燥事業、生活保護の受給者、つくばまちなかデザイン株式会社の決算報告、高齢者の移動支援について質問した。



しおた 塩田 尚 議員

山中八策の会



### 「自転車のまちつくば」推進のための取り組み

**質問** 高齢者電動アシスト自転車等購入費補助事業を令和5年度から始めたが、補助を受けるための安全講習受講状況は？ 人気があり過ぎて希望者が予定をオーバーしたり、既購入者が交通安全教室を受講したいと申し出た場合の対策は？ 自転車レーンを整備するなどして、高齢者のみならず、市民の誰もが自転車を楽しく、安全安心で、健康的な、しかも環境に優しい社会を創ることが大事だと思うが、市の対応を伺いたい。

**答弁** 交通安全講習は、令和5年度前期分として5日間開催を予定しており、200人定員に対して、6月6日現在175人の申し込みがあり、空きがある状況である。後期分の講習は、9日間開催し、定員は360人としている。追加での実施は予定していないが、交通安全講習の定員は、前期分の定員が200人であるのに対して、後期分は360人の定員としていることから、十分な定員であると考えている。今回の事業は、高齢

既購入者は受講できないが、高齢者に限らず多くの方が交通安全講習を受講できる機会を持つことは望ましいので検討する。自転車ネットワーク計画の策定については、本来は市内全ての道路を計画に位置付けることが望ましいと考えるが、現実的に難しいため、限られた予算内で最大限の効果を発揮するような路線と整備形態を計画に位置付け、自転車レーンなどの自転車通行空間を整備していく予定である。



小野 泰宏 議員

公明党つくば



### 安心して暮らしていける環境の構築のために

**質問** 高齢社会の進展に伴い、認知症の増加も想定されるが、認知症高齢者が偶発的な事故により他人を負傷させたり、他人の所有物を壊した場合に、その賠償金を保険で補償する事業が、平成19年に認知症高齢者が線路内に立ち入って電車にはねられて亡くなった事故以来、全国の自治体で導入されている。「誰一人取り残さない」包摂的な社会を実現するためには、さまざまな場面できめ細かな事業の展開が必要と考えるが、上記の事業導入について市の考えを伺いたい。

**答弁** 認知症高齢者の偶発的な事故に対する賠償保障制度については、認知症の人が線路に入るなどして列車を止めた場合や、他人の財産を棄損した場合などの損害賠償を想定して全国で制度を導入する動きがあり、県内では水戸市が実施している。水戸市では、鉄道路線が複数あることが事業実施のきっかけになったということだった。つくば市を通る鉄道は、簡単に住民

が立ち入ることができない構造のため水戸市とは状況が違うが、先行自治体のさまざまな事例を見ながら、制度について調査研究を行っていく。



このほか、行財政改革、生成人工知能(AI)について質問した。



金子 和雄 議員

新社会党つくば



### 自転車のヘルメット着用について

**質問** 改正道路交通法(令和5年4月1日施行)により、全ての自転車利用者について乗車用ヘルメットの着用が努力義務となった。大切な命を守るため、自転車を利用する際は乗車用ヘルメットを着用し十分な注意をする必要がある。市の取り組みについて伺いたい。

**答弁** 令和2年度から児童自転車用ヘルメット購入補助事業を実施し、市広報紙5月号で自転車安全利用五則に関する特集記事を掲載した。また、令和5

年度、70歳以上の方を対象に開始した「電動アシスト自転車等購入費補助事業」で、自転車用ヘルメットも同時に購入した方には、2千円を上限に助成している。今後も警察などの関係機関と連携した交通安全運動の実施や、安全利用を啓発するメッセージをラッピングしたつくばの運行など、自転車の安全な利用を促していく。小・中学生が自転車に乗る際のヘルメット着用については、これまで自転車の安全な利用を児童生徒に呼

### 「市内商工業者への支援」について

**質問** コロナ禍後の経済支援策について伺いたい。

**答弁** これまでの3年間、新型コロナウイルス感染症に対する経済支援を実施してきた。令和5年度も、「経営支援ワンストップ窓口」を引き続き開設し、事業者のニーズに寄り添った伴走型の経営相談事業を行っている。また、障害者やひとり親を雇用する事業者を対象に支援する「雇用促進交付金交付事業」についても引き続き行っている。

**質問** まつりつくば開催による地域経済への影響について聞きたい。

**答弁** 例年約45万人が来場していることから、2日間会場に出店すること自体がPRにつながる。



中村 重雄 議員

創生クラブ



がっており、地元の店舗を来場者に知っていただき、実店舗に足を運ぶきっかけになるものと考えている。

**質問** 市長の「まつりつくば」への思いや期待、今後に向けた方策など伺いたい。

**答弁** 市内最大の夏祭りであり、多くの市民が楽しみにしているイベントである。4年ぶりの現地開催となり、これまで以上に多くの来場者が予想される中、安心して楽しめるように、安全対策には十分留意する。地域のつながりをどう意図的に生み出していくかということも、きちんと埋め込んでいけるよう設計をしていきたい。



木村 清隆 議員

清郷会



### 中小企業振興基本条例制定に向けて

**質問** 中小企業の振興のための中小企業振興基本条例制定は、市の責務であり、市内経済の発展および市民生活の向上に寄与することを目的とした条例制定が必要と考える。「ものづくり産業における公正取引の確立」、「技術・技能の継承・育成・教育の強化」、「労働者の意見が反映される仕組み」、「市が行う発注・調達などを透明かつ公正にし、予算の適正な執行に留意しつつ、市内中小企業者の受注・参入機会の増大」といった観点

を踏まえ、条例制定に向けた市の見解を伺う。

**答弁** 中小企業が地域経済で発展していくために、行政の責務、ならびに事業者および商工会などのそれぞれの主体が果たす役割を明確にし、ものづくり企業を始めとする中小企業の振興に関する施策を総合的に推進する上で、条例制定は意義あるものと考えている。人材不足解消を目的とした就職希望者の交流会については、若者の地域定着化、雇用安定化を図るため、

就職フェアを毎年1回開催するなど、市内企業とのマッチングの場を提供した。条例制定に当たり、中小企業を振興していくために行政の責務としてどういうものがあるのかということも明確に位置付けていくということがその土台づくりにつながっていくと考えている。さまざまな事例の調査、有識者・当事者からの意見などを踏まえて、理念条例ではあるが、条例ができて良かったと具体的に感じられるようなものにしていきたい。

このほか、みどりの駅周辺の交番・郵便局の設置、既設賃貸共同住宅向け宅配ボックス設置事業について質問した。



飯岡 宏之 議員

自民党政清クラブ



洞峰公園の市への無償譲渡について

質問 洞峰公園については、毎年維持管理費が約2億3千万円かかり、プールや体育館・テニスコートなどの大規模修繕費なども今後かかっていくが、市民へのアンケート調査や説明会を開催する予定はあるのか。また、議会への議案提出も予定されているのか。これらの施設は築43年経っているが、同じ頃に建てた旧耐震基準の谷田部、桜筑波、荃崎庁舎は取り壊しになっている。建て替え、大規模修繕のどちらも莫大な費用がかかるが、市の考えを伺いたい。

回答 これまで県が適切に維持管理してきた洞峰公園の環境を市として引き継ぐことが、地域にとっても市全体にとっても望ましいと判断した。茨城県、指定管理者ならびに市の三者により、公園施設の現状確認を行うとともに、プールや体育館などの建物調査を建築士に委託し、修繕が必要な箇所などの洗い出しを行った。この結果と県から提出された資料を基に、大規模修繕に必要な費用および年間の

維持管理費用などについて、確認や精査を行っている。市民への説明については、体育館やプールなどの施設の状態、想定される修繕内容およびそれに係る費用、さらには維持管理などに必要となる費用を6月定例会期中に議会へ報告した後、説明会の開催を検討している。今後については、大規模修繕や維持費の費用などの精査ができた時点で議会に示し、市民にも共有していく。

このほか、つくば市立高校建設、自転車用ヘルメット購入補助金などについて質問した。



塚本 洋一 議員

自民党政清クラブ



公共交通つくバスについて

質問 つくバスの運行について、新聞などでも記事を見ると、不適正な運行が目立つが、どのような事案があったのか。また、それらの対応について伺う。

回答 つくバスの運行については、令和4年度に不適正な運行としてプレスリリースを18件行った。内訳は、「停留所での未停車や乗客の見落とし」が7件、「運行経路の誤り」が5件、「接触事故」が5件、「早発」が1件であり、運行事業者である関東鉄道株式会社には、再発防

止に向けた抜本的な対策を申し込んでいる。市では、市内全路線のバス停留所の再点検を実施し、反射材の貼付や必要に応じた位置修正など、バス停留所の視認性確保を行っている。

質問 今後の再発防止に向けた管理や指導などの具体的な取り組みについて伺う。

回答 ソフト面では、運転士の行動変容や運行管理者のコミュニケーションスキル向上などで再発防止対策の実行性を高め、ハード面では、運行ルートを



反射材の貼付の様子

このほか、市内在留外国人の動向や市が行う各種対応と、民間売却した旧高工ネ研南側未利用地の開発行為での事前協議や周辺住民への説明会および環境への配慮について質問した。



黒田 健祐 議員

つくば自民党



物価高騰への対応について

質問 ここ近年の物価スライド(スライド条項適用)による変更契約の実績を伺う。

回答 市が契約している工事請負契約で、令和4年度にスライド条項を適用し、変更契約した実績はない。なお、発注する際は、最新の単価を用いて、材料費などの高騰の影響を最小限にとどめるよう配慮している。質問 令和5年度の相談件数は。回答 現在までに2件の相談があり、いずれも資材価格高騰に関するものである。質問 令和5年度の相談件数は。回答 市で単品スライド条項、インフレスライド条項の運用基準は策定していない。質問 これに関しては単品スライド、インフレスライドの運用基準は策定されていないので、

共有はできないと思うが、受注者(業者)とのやり取りに対する工夫や何かそれに準ずる対応はしているか。

回答 相談があれば県の運用基準に準じて、スライド条項の運用の可否を判断しているが、この制度について受注者へ浸透しきっていないことが考えられるので、今後は制度のさらなる周知を図っていく。

要望 物価高騰によりさまざまな影響が現在進行形で続いているので、つくば市側の寄り添った対応をお願いする。

このほか、ふるさと納税、学校内への不審者侵入対応について質問した。



あさの えいこ 議員

つくば・市民ネットワーク



全学級で「読み書き障害」への支援を

質問 理解力はあるが文字の読み書きに支障のある「読み書き障害」の早期発見について、令和5年度の検査実施状況とその結果を伺う。

回答 小学1年生の読み書き障害の可能性のある児童の把握については、令和4年度の就学時健康診断において、平仮名10文字音読検査を行い、約2割の児童に読み書き困難のリスクがあることが分かった。これまでの実績から、検査結果を入学後の指導に生かすことで、その内

の9割の児童は9月頃には読み書きの力が追いついたが、1割の児童は読み書き困難のリスクを抱えたままであることが確認されている。そのため、9月以降、全体の児童にさらに詳細な集団式検査を実施し、個別対応が必要な児童を把握していく。

質問 具体的にどのような支援をされているか伺う。

回答 読み上げ、ルビ振り、升目の大きなノートの使用、タブレット端末による入力や板書の撮影、文字の形を覚えやすい

方法で復唱するなどがある。質問 外部の専門家の助言を学校に積極的に取り入れていくことへの見解を伺う。

回答 専門家からの助言の取り入れが難しいと判断する学校の理由がよく分からないが、積極的に外部の力を借りて、子ども一人一人に対して適切な支援ができるようにすることは必須だと考えている。今後難しいと判断する学校があれば、指導しなければならぬと思う。

このほか、公立幼稚園での保育の拡充について質問した。



こもりや さやか 議員

つくば 市民ネットワーク



### 水道料金値上げ、さらに精査を！

**質問** 平成30年に水道料金の値上げがされたが、令和4年度上下水道審議会は今後10年間でさらに値上げが必要との試算を示した。その前提に資産残高を10億円から30億円に引き上げることなどを条件としたが、その根拠は？

**答弁** 災害などの突発的な支出に備え、手持ち資金の残高を現状の最低10億円から計画期間内で段階的に引き上げ、令和14年度末に30億円を確保することとしたものである。その内訳は、

災害などの突発的な事象が発生した場合でも半年間事業を継続するために必要な経費の試算額となっている。具体的には、受水費や動力費など1カ月当たり約3億円の経費を3億円、その半年分として18億円見込み、半年分の企業債償還額として6億円、災害などによる復旧費用など臨時に発生する費用として6億円を見込んだものである。

**質問** 災害であれば一般会計からの融通など、手段はある。将来・現役世代の負担平準化の

ため、さらに精査を。また、地下水大量使用者対策で他自治体はさまざまな取り組みをしているが本市の検討状況は？

**答弁** 大口需要者が水道水から地下水利用の割合を高めるほど、投資部分の効率が悪くなり、結果として水道経営全体に与える影響が大きい。他自治体の事例を調査・研究し、市で可能なことを調査していきたい。

**意見** これらの対策なくして次の値上げはないものと考えて。

このほか、つくばスーパーサイエンスシティ構想におけるスーパーシティ事業について質問した。



みながわ ゆきえ 議員

つくば 市民ネットワーク



### コロナ感染対策による子どもへの影響は？

**質問** 不登校児童生徒の急増など、コロナ感染対策による子どもの発達への負の影響が示唆されているが、市の認識は？また、令和5年5月8日以降に学校の感染症対策はどうなったか？

**答弁** 国や専門機関からさまざまな指摘があり、子どもの心身発達への影響が懸念される。児童一人一人の状況を観察し、適切な支援が必要と考えている。5月8日以降はガイドラインを廃止し、屋内外に関わらずマスク不要とし、給食時や合唱の時

の距離制限、学校行事への参加人数制限も無くした。

**質問** 改めて学校行事の意味、目的をお聞きしたい。

**答弁** よい人間関係をつくり、集団の一員だと自覚して社会のルールを学ぶことで、より良い学校生活を送れるように、自ら努力することが目的である。児童生徒が主体的に活動の意義や方法を考え、教職員が意見をよく聞き、一緒に各行事の目的を達成することが大切である。

**質問** 給食時の黙食や、休み

時間は会話を控えるなど、感染対策が続いている学校もあるようだが？

**答弁** 黙食のままの1、2校には、対策は不要と伝えている。給食や休み時間は、児童生徒が思い思いに過ごし、リラックスする、次の授業のために大切な時間であると認識している。

**質問** マスクの着用は、どのように学校へ通達しているか？

**答弁** マスクは着用しなくてもよい、個人の自由だと話している。クラスで話し合い、互いを認め合える状況にしてほしい。

このほか、精神疾患を有する方々の支援、学校給食について質問した。



かわむら なおこ 議員

つくば 市民ネットワーク



### 中学生の自転車用ヘルメットをリサイクル！

**質問** 市のごみ減量は差し迫った課題。「つくば市公共施設のごみ減量・リサイクル推進方針」の内容は？

**答弁** 市役所内部の方針として、行政が市民の手本となり、率先してごみ減量などに取り組むため、令和4年11月に策定した。本方針では、「ごみの減量を意識するため、ごみの重量を把握する」「燃やせるごみを減らすため、分別を徹底する」「コピー用紙を再使用した後、雑がみとして資源化する」の3つの

取り組みを掲げ、全庁的にごみの減量および資源化を推進している。令和4年11月から、各施設が排出するごみごとの重量を、四半期ごとに集計している。今後は庁内全体で集計結果を共有し、分別などが不十分な施設に助言などを行う予定である。

**質問** 中学校進級時に配布される自転車用ヘルメットのリサイクルは検討されたことがあるか？

**答弁** 現在、市内学校で実施しているところはない。

**質問** 計算すると毎年約770トンが燃やせるゴミに出されることになる。令和5年4月から自転車用ヘルメット着用が義務化され、今後廃棄されるヘルメット数は増加する。市が自転車用ヘルメットリサイクルの第1号となるよう、ぜひ検討を始めてほしい。

**答弁** ヘルメット販売業者などで使用済みのヘルメットを下記取りし、部材の一部をリサイクルする事例がある。今後は学校で配布したヘルメットのリサイクルについて、教育局と生活環境部が連携して調査研究する。このほか、市政への市民参加の推進について質問した。



### 議会中継映像配信

▶ 本会議（定例会・臨時会）の開催時間は生中継をご覧ください。

▶ 本会議開催日ごとに、3日後（休日を除く）から録画映像を視聴することができます。  
※ 委員会は配信していません。



録画放映ページ

### 傍聴される方へのお願い

▶ **マスク**は各自の判断でご着用ください。

▶ 傍聴受付に設置した**消毒液はご自由にご使用**ください。



市議会ページ

広報広聴委員	
委員長	小村 政文
副委員長	川久保皆実
委員	宮本 達也
委員	川村 直子
委員	山中 真弓
委員	小森谷さやか
委員	神谷 大蔵
委員	小久保貴史

議会局議会総務課 029-883-1111 (内線 6110・6120・6130)

\*ガイドライン：つくば市立学校新型コロナウイルス感染症ガイドライン

# 委員会審査

## 総務文教分科会

【議案第45号】令和5年度つくば市一般会計補正予算(第2号)

【質疑】 総務費 アイラブつくばま  
ちづくりに関する経費に、アイ  
ラブつくばまちづくり寄附推進業務  
委託料の内容について

【答弁】 現在、ふるさと納税のポ  
ータルサイトは3社と契約している  
が、令和5年10月から12月にかけて  
行われる、茨城ステーション  
キャンペーンに合わせて、ふるさと  
納税のPRができるという提案を受  
け、新たに1社と契約するため、委  
託料を計上した。

## 総務文教委員会

【議案第58号】 つくば市学校開放条  
例について

【質疑】 対象施設の範囲や所管部署  
に関して

【答弁】 体育施設については、全て  
の小中学校が対象で、特別教室につ  
いては、現時点で研究学園小学校、  
香取台小学校を予定している。体育  
施設は教育施設課、特別教室は生涯  
学習推進課で受け付けを行うよう準  
備を進めている。

6月定例会にて、各常任委員会に付託され  
た議案など24件を審査するため、委員会・分  
科会を開催しました。

## 福祉保健分科会

【議案第45号】令和5年度つくば市  
一般会計補正予算(第2号)

【質疑】 民生費 民間保育所運営に  
要する経費および放課後児童対策に  
要する経費に、送迎バス安全装  
置設置事業費補助金の詳細について

【答弁】 国庫補助金であり、上限  
額は、民間保育所は1台当たり  
17万5千円、放課後児童クラブは1  
台当たり8万8千円である。補助金  
を受けるには申請が必要で、申請台  
数は、民間保育所が23台、放課後児  
童クラブが129台を想定してい  
る。送迎バス安全装置は3方式あり、  
どの方式を使用するかは事業者ごと  
で選択可能である。各事業者が適切  
な選択ができる  
ように、そ  
れぞれの方式  
の特徴を調査  
し、メリット  
・デメリット  
を周知してい  
く。



## 福祉保健委員会

【請願5第2号】健康保険証を廃止  
しないことを求める意見書を国に提  
出することを求める請願書

▼審査結果▶可決すべき

議案詳細



【質疑】 現行の健康保険証が廃止さ  
れる令和6年の秋までは、現行の健  
康保険証とマイナ保険証のどちらも  
利用できるのか

【答弁】 令和6年8月に発行される  
健康保険証は1年間有効なものな  
ので、令和7年7月末までは現行の紙  
の健康保険証とマイナ保険証の2通  
りが利用できる。ただし、令和6年  
の秋に紙の健康保険証が廃止になる  
ため、それ以降に新規加入した方な  
どに紙の健康保険証は発行されな  
い。

## 市民経済分科会

【議案第45号】令和5年度つくば市  
一般会計補正予算(第2号)

【質疑】 商工費 新型コロナウイルス  
感染症対策に要する経費に、  
市内消費活性化業務委託料および市  
内消費活性化事業負担金の事業概要  
について

【答弁】 エネルギーや食料品などの  
価格高騰の影響を受けている中小  
企業および市民を支援するための、  
キャッシュレス決済によるポイント  
還元事業である。還元率は購入額の  
30%、1回当たりの付与上限額5千  
円、期間内上限額1万円で、2週間  
の期間で秋頃に実施予定である。市  
内消費活性化業務委託料の内訳は、  
運営費、手数料、プロモーション費

である。プロモーション費は、キャ  
ンペーン開始の周知と、キャッシュ  
レス決済未導入の飲食店などにシス  
テム導入を案内するための費用であ  
る。

【意見】 キャッシュレス決済につい  
て、特定の事業者や利用者への偏り  
を懸念している。同様の事業を再度  
行う際には、公平性を考えてほしい。



## 市民経済委員会

【議案第54号】つくば地域交流セ  
ンター条例の一部を改正する条例に  
ついて

【質疑】 改正前の条例第3条第2号  
「生涯学習及び地域における市民の  
交流に関する事業」が削除されたが、  
生涯学習に関する事業は今までも変  
わりなく行っていくのか

【答弁】 改正前の第3条第1号で  
「場の提供」、第3号で「支援を行う  
こと」と具体的な表現で明記してお  
り、第2号の「事業」は抽象的な表  
現であったため整理した。改正によ  
り施設の設置目的や運用が変わるこ  
とはなく、引き続き関係部署と連携  
しながら生涯学習団体への支援や交  
流センター講座などに取り組んでい  
く。

## 都市建設分科会

【議案第56号】つくば市スケート  
ボードパーク条例の一部を改正する  
条例について

【質疑】 オープンしてからのスケ  
ートボードパークの利用人数と、使用  
料充当予定について

【答弁】 利用人数は、令和5年4月  
30日のオープンから6月15日現在ま  
で、1303名であり、使用料は、  
施設の修繕費および今後設置される  
照明の電気料などに充てる予定であ  
る。

【質疑】 管理人のような人員の配置  
の有無、および現時点での利用者の  
混雑状況について

【答弁】 現在、週末の利用者数が増  
えており、今後20名から30名程度利  
用されるような場合には人数制限を  
考えている。



スケートボードパーク

## 都市建設委員会

【議案第66号】工事請負契約の締結  
について

▼審査結果▶可決すべき

【質疑】 工事の内容と期間について

【答弁】 工事内容は、照明灯8基、  
園路舗装、駐車場舗装、遊戯施設、  
ブランコ、鉄棒、児童用複合遊具、  
幼児用複合遊具、砂場、健康遊具、  
水飲み器1カ所、ベンチ12基、パー  
ゴラ1カ所およびトイレ1カ所とし  
ている。また、雨水貯留浸透施設を  
公園の下に設置予定で、工事期間は、  
令和6年3月18日までの約9カ月の  
予定である。

【質疑】 公園の植樹予定や砂場の管  
理などについて

【答弁】 2千本近くを設置する予定  
であり、砂場は、周りにフェンスを  
設置し管理する予定である。

## 予算決算委員会

【議案第45号】令和5年度つくば市  
一般会計補正予算(第2号)

▼審査結果▶可決すべき

【意見】 市内中小企業9千社が対象  
となるよう、キャッシュレス決済事  
業者を1者ではなく、複数者にする  
など検討してほしい。今後、国  
の補正予算の主旨を勘案した事業に  
なるように見直していただきたい。

【意見】 キャッシュレス決済事業で  
予算が余った際には、既存事業に充  
てるのではなく、中小企業にも還元  
できるような新たな施策の実施を模  
索してほしい。

議案等審議

【請願5第1号】介護保険制度の改善を求める請願書

不採択

反対討論

介護保険制度は、平成12年の創設以来、少子高齢化が進行する中、状況に応じた改正がされ、おおむね順調に実施されている。今後も、介護保険法において安心して生活が送れるよう、安定的かつ持続可能な介護保険事業の維持運営を国が議論し、制度の改正が進められている中で本請願については、採択すべきではない。

賛成討論

介護現場は、労働条件の低さから人手不足に陥っている。3年に一度の見直しのたびに保険料の負担が増すことにより、被保険者の暮らしに重くのしかかっている。国が国費投入の責任から背を向け、自治体と市民に丸投げしている保険制度を変えることなくして、この悪循環は変えられない。その上、サービス見直しの提案は全般的な外れで、介護保険あってサービスなしである。関係団体から改善を求める署名や要望がそのたびに出されているが、実施を先送りするだけで見直しのたびに同じ問題が起きている。請願で指摘事項にこそ真摯に向き合うべきと考え、本請願に賛成する。

【意見書案第1号】マイナンバーカードの運用を一旦停止し、早急に全面的な総点検を行うことを求める意見書

原案否決

反対討論

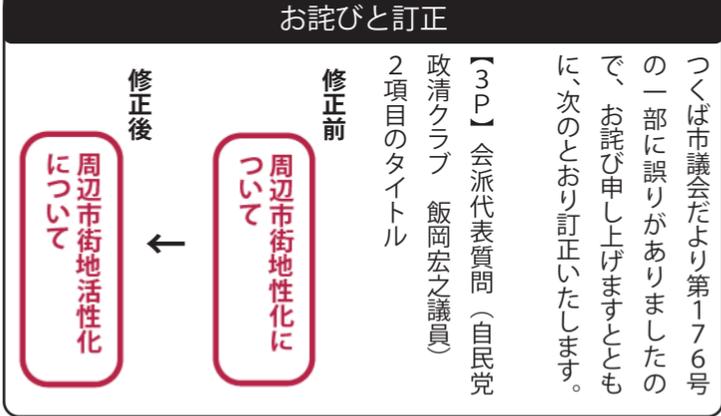
マイナンバーカードを巡る一連の報道は憂慮するが、政府は新たに対策本部を設けて関係府省と連携し、総点検を着実に推進するとし、その進展が待たれている。また、マイナンバーカード未取得者には資格確認書の申請で発行するともしている。今、運用停止となると、かえって国民の不安を招き、認知症などで服薬していたものが分からない場合にマイナ保険証で履歴が参照できるなどの期待もある。メリットも含めた冷静な議論が必要である。6月18日時点で9700万枚以上の申請、令和5年4月時点で8700万枚以上が交付されていることから、マイナンバーカード運用停止による社会的な影響は大きいと考える。

賛成討論

内閣は、マイナンバーカード総点検本部を立ち上げ、第1回目の会合を行ったが、トラブルは登録を誤るなどのヒューマンエラーによるもので、システムによるものではないとの姿勢は崩していない。ヒューマンエラーがあってもトラブルにならないような設計を最初からしなければならず、ヒューマンエラーも含めてシステム全体の問題と言える。一番大きな問

題は、個人情報も付けミスで、他人の口座情報、年金情報や自分の情報が見られているかもしれない。マイナポータルなどのシステム運用自体を一旦止めなければ何ともならないと思う。健康保険証以外でも任意取得であるマイナンバーカードが事実上の強制取得となる問題はあるが、各省庁や市民の間でも、これらの利用で何が良くなるのかのビジョン共有がほとんどないまま、世界のデジタル化の流れに遅れまいとの姿勢で拙速に進められた結果なので、一旦立ち止まらべきだと思う。現在のマイナンバーカードのシステム運用を一旦止めた上でなければトラブルは繰り返され、利用する市民のリスクはなくなる。政府にはシステムを一旦停止した上で運用の把握、間違いの原因究明などの総点検を求める。

お詫びと訂正



第2回臨時会

令和5年4月21日に開催し、承認2件、議案1件を審議しました。

討論

【承認第2号】専決処分事項の承認を求めることについて(専決処分第10号)

承認

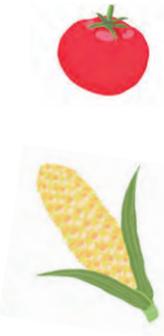
反対討論

今回の限度額引き上げは、後期高齢者医療保険の限度額の引き上げに伴い、後期高齢者支援金の課税額の限度額が20万円から22万円に引き上げられたものである。質疑の中で、世帯ごとの影響を受ける収入額も聞いたが、4人世帯781万円から影響を受けるということだった。子育て世帯の子どもたちでは、病院にかかる回数も増え、併せて国民健康保険税として年金も払うという家庭の状況にあるかと思う。物価高騰やさまざまな値上げの中で、さらなる引き上げは家計に大きな影響を与えることを勘案して反対するが、そもそも国民健康保険税や後期高齢者医療保険制度は、国からのしっかりとした財政的支援がない中、保険者と被保険者の中でやりくりをすることに限界が来ていると思いい、反対する。

【賛成討論】 今回の条例改正は、国民健康保険の被保険者間の税負担の公平性の確保および中低所得層の税負担の軽減を図るためには必要な改正であり、専決処分事項の承認について賛成する。

令和5年第2回臨時会議案等議決結果一覧

Table with 2 columns: 報告案件, 議決結果. Includes items like 専決処分事項の報告について, 専決処分事項の承認を求めることについて, and 令和5年度つくば市一般会計補正予算(第1号).



令和5年第2回臨時会議員賛否一覧 (議案などに対して賛否の分かれたものを、議員からの申し出に基づき掲載しています。)

Table with columns for party names (e.g., つくば自民党, 自民政清クラブ) and individual members, with rows for 承認第2号 and voting status (O for赞成, X for反対).

※ 「○」は賛成、「×」は反対、「欠」は欠席。議長は可否同数の場合または特別多数議決の場合以外は表決に加わりません。
※ 会派名(議席番号順) つ=つくばチェンジチャレンジ 清=清郷会 山=山中八策の会 新=新社会党つくば

# 令和5年6月定例会議案等議決結果一覧

報告案件	案件名	議決結果	
【報告第11号】 令和4年度つくば市一般会計予算継続費繰越計算書について	【議案第58号】 つくば市学校開放条例について	原案可決	
【報告第12号】 令和4年度つくば市一般会計予算繰越明許費繰越計算書について	【議案第59号】 市道路線の認定について	原案可決	
【報告第13号】 令和4年度つくば市一般会計予算事故繰越し繰越計算書について	【議案第60号】 市道路線の廃止について	原案可決	
【報告第14号】 令和4年度つくば市水道事業会計予算繰越計算書及び令和4年度つくば市水道事業会計継続費繰越計算書について	【議案第61号】 市道路線の変更について	原案可決	
【報告第15号】 令和4年度つくば市下水道事業会計予算繰越計算書及び令和4年度つくば市下水道事業会計継続費繰越計算書について	【議案第62号】 財産の取得について	原案可決	
【報告第16号】 つくば市土地開発公社の経営状況を説明する書類について	【議案第63号】 工事請負契約の締結について	原案可決	
【報告第17号】 専決処分事項の報告について	【議案第64号】 工事請負契約の締結について	原案可決	
【報告第18号】 専決処分事項の報告について	【議案第65号】 工事請負契約の締結について	原案可決	
【報告第19号】 専決処分事項の報告について	【議案第66号】 工事請負契約の締結について	原案可決	
【報告第20号】 専決処分事項の報告について	【議案第67号】 工事請負契約の締結について	原案可決	
	【議案第68号】 令和5年度つくば市一般会計補正予算(第3号)	原案可決	
案件名	議決結果	委員会提出議案	議決結果
【議案第45号】 令和5年度つくば市一般会計補正予算(第2号)	原案可決	【委第3号議案】 つくば市議会会議規則の一部を改正する規則について	原案可決
【議案第46号】 つくば市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	請 願	議決結果
【議案第47号】 つくば市税条例の一部を改正する条例について	原案可決	【請願5第1号】 介護保険制度の改善を求める請願書	不採択
【議案第48号】 つくば市建築関係手数料条例の一部を改正する条例について	原案可決	【請願5第2号】 健康保険証を廃止しないことを求める意見書を国に提出することを求める請願書	趣旨採択*
【議案第49号】 つくば市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	原案可決	意見書・決議	議決結果
【議案第50号】 つくば市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	原案可決	【意見書案第1号】 マイナンバーカードの運用を一旦停止し、早急に全面的な総点検を行うことを求める意見書	否 決
【議案第51号】 つくば市福祉支援センター条例の一部を改正する条例について	原案可決	*趣旨採択 請願の願意については十分に理解できるが、願意を実現することが困難な場合などに、「趣旨には賛成である」という意味の議決をいいます。	
【議案第52号】 つくば市印鑑条例の一部を改正する条例について	原案可決	 <p>議案の審議状況と議決結果</p> <p>請願一覧</p> <p>意見書・決議一覧</p> <p>詳細はQRコードからご覧いただけます。</p>	
【議案第53号】 つくば市市民活動センター条例の一部を改正する条例について	原案可決		
【議案第54号】 つくば市地域交流センター条例の一部を改正する条例について	原案可決		
【議案第55号】 つくば市の地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決		
【議案第56号】 つくば市スケートボードパーク条例の一部を改正する条例について	原案可決		
【議案第57号】 つくば市民・学校プール条例について	原案可決		

## 令和5年6月定例会議員賛否一覧 (議案などに対して賛否の分かれたものを、議員からの申し出に基づき掲載しています。)

議案等番号	つくば自民党					自民党政清クラブ					つくば・市民ネットワーク			創生クラブ			公明党つくば		日本共産党つくば市議団	つ	清	山	新			
	長塚俊宏	黒田健祐	神谷大蔵	小久保貴史	五頭泰誠 議長	久保谷孝夫	宮本達也	木村修寿	塚本洋二	飯岡宏之	鈴木富士雄	川村直子	あさのえくこ	小森谷さやか	皆川幸枝	小村政文	中村重雄	高野文男	浜中勝美	小野泰宏	山中真弓	橋本佳子	川久保皆実	木村清隆	塩田尚	金子和雄
議案第47号	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○
議案第54号	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	×
請願5第1号	×	×	×	×	-	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	○	
請願5第2号	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	×	
意見書案第1号	×	×	×	×	-	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	○	

※「○」は賛成、「×」は反対、「欠」は欠席。議長は可否同数の場合または特別多数議決の場合以外は表決に加わりません。

※ 会派名(議席番号順) つ=つくばチェンジチャレンジ 清=清郷会 山=山中八策の会 新=新社会党つくば

議会BCP

災害時における議会の動きを  
区会の皆様に報告しました!

議会BCPとは?



区会連合会の総会にて、議会BCPが策定されたことを紹介し、各地域における担当議員の分担表なども確認いただきました。今後は、策定した計画を緊急時にしっかりと運用できるよう取り組みを進めてまいります。

令和5年4月19日から4月28日の間で、市内6地区それぞれで地区説明会を開催しました。



筑波地区



豊里地区



大穂地区



谷田部地区



荃崎地区



桜地区

議会運営委員会行政視察

- 期日 令和5年5月16日から5月18日
- 視察先 千葉県柏市、北海道登別市、北海道白老町
- 視察事項 議会改革の取り組みについて



柏市議会



登別市議会



白老町議会

いずれの議会でも、議会改革の取り組みについて行政視察を行った。

柏市議会は、採決システムの導入やプロジェクターおよび書画カメラによる資料の表示など、議場設備が充実しており、より内容の濃い質問ができる環境が整備されていた。

登別市議会は、「IT推進に関する特別委員会」を設置し、議会内でのIT化推進に積極的に取り組んでおり、議員へのパソコン貸与、議場への持ち込み可とした先進的事例であった。また、議会サポーター制度設置、傍聴人の年齢制限撤廃など、市民参加の場を積極的に増やしてきた。

白老町議会は、当市議会でも令和5年度から導入予定の通年議会の取り組みが先駆けて行われており、議会運営の現状について確認することができた。また、平成10年度から、5段階に分け段階的かつ積極的に議会改革に取り組んでおり、全般的に議会としての意識の高さが伺えた。

それぞれの議会の取り組みは、今後のつくば市の更なる議会改革へ大いに参考となる事例であった。

議長会表彰

この度、地方自治の発展と市政の振興に貢献された功績により、7名の議員が表彰を受けました。

- 全国市議会議長会  
議員在職30年以上
- 茨城県市議会議長会  
議員在職30年以上



しおた ひさし  
塩田 尚 議員

全国市議会議長会 議員在職10年以上



こくぼ たかし 小久保 貴史 議員      ことう やすまさ 五頭 泰誠 議長      かみや だいぞう 神谷 大蔵 議員  
 きむら きよたか 木村 清隆 議員      きむら しゅうじ 木村 修寿 議員      くらた けんすけ 黒田 健祐 議員

